

施策評価シート(令和元年度)

(基本施策の大綱) 3. 交通拠点性を生かした都市活力の向上

(基本施策) (2) 地域に根ざした商工業の活性化

(評価担当者)

産業建設部長 大澤 哲也

基本施策が目指す姿

市内事業者が、地域に根ざし活発な経営を行っています。

関連する分野別計画

成果指標

	単位	現状値		実績値					目標値	
				H29	H30	R1	R2	R3		
1	都市拠点における空き店舗活用件数	件	-	H27	0	3	5			5
2	カメヤマ創業アシストのサポートを受けた創業件数	件	-	H27	5	8	9			30
3										
4										
5										

市民アンケート調査

項目		現状値 [H27]	1次 [H30]	2次 [R2]	市民アンケートの考察
1	日常の買い物がしやすい	重要度	1.37	1.31	日常の買い物しやすさは、特に重要度が高い。満足度は前回より上昇しており、スーパーやドラッグストア等の新規開店によるものと考えられる。 外食店等の充実、重要度は低いものの、満足度は特に低く、満足度向上につながる施策を展開する必要がある。
		満足度	0.02	0.13	
2	外食や宴会等を行う場所が充実している	重要度	0.72	0.74	
		満足度	1.04	1.07	
3		重要度			
		満足度			
4		重要度			
		満足度			
5		重要度			
		満足度			

総合評価

総合判定	左記の総合判定とした理由
B まずまず進んでいる	若者・女性の創業を支援する空き店舗等活用支援補助金などにぎわいのある商業地域の形成、経営指導及び利子補給・保証料補給など市内事業者の経営力の向上は順調に進んでおり、個別判定をAとしている。亀山商工会議所や亀山市商業団体連合会など多様な主体による一体的な取り組みの促進、創業セミナーや創業資金繰り支援など新たなビジネスの創出は、まずまず進んでおり個別判定をBとしている。 基本施策に設定する成果指標においてもおおむね実績が出ており、基本施策が目指す姿に近づけることができていると考え、総合判定をBとした。

反省点・課題

若者や女性が創業する事例も増えてきたが、にぎわいのある商業地域の形成には、後継者となる若い世代を支援していく必要がある。また、地域に根ざした商工業の活性化を図るためには、市内経済や雇用を支える市内事業者の持続的な発展が必要不可欠であり、新たな事業展開や安定した経営を支援するためには、継続的な資金繰り支援を行う必要がある。さらに、地域資源を活用した地域に根ざす産業を創出するため、市がホームページでのPRやイベント等で取り扱う特産品を選定する基準の設定や、発掘から販路拡大まで農工商が連携した一連の支援を行う必要がある。

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者への支援が必要である。

今後の展開方針

既存商業施設が集積する都市拠点において、空き店舗活用支援により、後継者となる創業者等に対して積極的な支援を行うとともに、市内事業者の持続的な発展のため、県や商工会議所等の関係機関と連携し、経営のアドバイスや資金繰り支援を行う。また、今後も商業団体の主体的な取組が積極的に促進されるよう、市内商業団体への支援を継続するとともに、市で認定制度を確立して商品のブランド化を行い、農工商が連携して既存特産品の販路拡大と新規特産品の発掘から販路確保まで、継続的に充実した支援を行う。

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者への支援として、国・県の支援制度でカバーできないところに対して、市独自の制度を段階的に展開する。

(施策の方向に関する評価)

施策の方向		にぎわいのある商業地域の形成					
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】		【左記の活動により、施策は推進できているか】			
A	活動	若者・女性の創業等への積極的支援として、創業者が若者・女性である場合に限り、補助金上限額をこれまでの1.5倍となる上限額150万円へと空き店舗等活用支援事業補助制度を拡充した。また、商工会議所等と連携し、創業支援に係る情報発信を積極的に行った。		空き店舗等活用支援補助金については、若者・女性の支援内容の拡大を行った結果、令和元年度実績2件のうち、1件は女性による創業であり、まちの魅力を向上させるにぎわいのある商業地域の形成は推進できている。			
		順調に進んでいる		評価			
関連事業	番号	事務事業の名称		区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
	17062	創業等支援事業		主	5,100 / 4,317	A	B
事業以外の取組	内容					活動	成果

施策の方向		多様な主体による一体的な取り組みの促進					
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】		【左記の活動により、施策は推進できているか】			
B	活動	「亀山まちゼミ」や、「亀山大市」(亀山市商業団体連合会主催)を支援し、商業団体の連携強化に努めた。また、「カメジョブ キッズ2020」の開催に向け、初回となった平成30年度の反省点や課題をもとに、開催時期や内容等について、主催・主管となる亀山商工会議所・亀山商工会議所青年部と検討を行った。		亀山商工会議所や亀山市商業団体連合会、亀山市東町商店街振興組合などの団体の事業費を一部補助することで、市民の豊かな消費生活の確保や魅力あるまちづくりなど、地域商業の発展につながり、多様な主体による一体的な取り組みの促進は、まずまず推進できている。			
		まずまず進んでいる		評価			
関連事業	番号	事務事業の名称		区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
	7007	団体支援事業(商工業振興事業)		標	12,570 / 12,370	B	B
事業以外の取組	内容					活動	成果

施策の方向		市内事業者の経営力の向上					
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】		【左記の活動により、施策は推進できているか】			
A	活動	亀山商工会議所と連携して、小規模事業者等を対象とした専門家による個別の経営指導を6社に対し12回実施した。また、市内での創業者に対し、創業資金融資にかかる保証料及び利子の一部を補給することにより、スタート段階における創業者の負担軽減と経営の安定を図った。		小規模事業者等を対象とした専門家による個別の経営指導による経営力向上の取組を支援することで、地域産業の活性化を図った。また、小規模事業者に対する利子補給制度、保証料補給制度等の資金繰り支援を実施することで、市内事業者の経営力の向上は、推進できている。			
		順調に進んでいる		評価			
関連事業	番号	事務事業の名称		区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
	17062	創業等支援事業		主	5,100 / 4,317	A	B
事業以外の取組	内容					活動	成果

施策の方向		新たなビジネスの創出					
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】		【左記の活動により、施策は推進できているか】			
B	活動	市内での創業予定者や創業後間もない事業者を対象に、専門家を講師とした創業セミナーや個別相談会を開催した。空き店舗等活用支援補助金制度を若者・女性の創業等への支援策となるよう見直した。農商工連携により、新たな特産品の発掘から販路確保までの事業を展開するため、調査・研究を行った。		平成25年度から開始した創業セミナーは、7年間で合計99人、市内創業者数は29人(うちセミナー受講者16人)となった。また、創業資金利子補給や創業・再挑戦融資制度等の資金繰り支援により、創業者の負担軽減と経営の安定を図り、新たなビジネスの創出は、まずまず推進できている。			
		まずまず進んでいる		評価			
関連事業	番号	事務事業の名称		区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
	17062	創業等支援事業		主	5,100 / 4,317	A	B
	7006	一般事業(商工業振興事業)		標	9,447 / 6,365	B	B
事業以外の取組	内容					活動	成果